



# 未来共創ワークショップに参加しました！

群馬県 県土整備部 都市計画課

## ■ 未来共創ワークショップとは

新・群馬県総合計画で描かれたビジョンの実現に向けた3つのキーワード(快疎(かいそ)・始動人(しどうじん)・官民共創コミュニティ)のうち、「官民共創コミュニティ」を群馬県内で実現するために開催されたワークショップです。ワークショップは3つのエリアで各3回行われ、ワークショップを通じ、多様な参加者が共にテーブルを囲み、地域の課題の解決や新しい価値の創出に取り組むことで、「共創の土壌が育まれていること」と「エリアごとに10~15の未来の種が生まれること」を目指して実施されました。

	甘楽富岡エリア	利根沼田エリア	桐生みどりエリア
対象地域	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町	桐生市、みどり市
テーマ	①移住の促進 ②魅力ある観光地づくり ③持続可能で環境に配慮した農林業 ④移住定住の促進 (良質な住環境と空き家の利活用) ⑤地域資源としての空き家の利活用 ⑥多世代が交流できる居場所づくり	①免許返納が進んで自家用車が利用できない人が増える地域での移動手段の確保 ②地域の資源を活かした住み続けたい村づくり ③移住者や関係人口を受入れる素地づくり ④この地域の森林資源(=水資源)がもつ価値の再認識	①SDGsの理念を市民一人ひとりが自分ごとにするためにできること ②コロナ禍での子どもの居場所づくりのあり方 ③高齢者や家庭環境に恵まれない子どものICTリテラシー向上 ④移住定住対策のコロナ禍での効果的なPR ⑤市民活動・地域活動の新たな担い手確保 ⑥市民が主体となり地域内での連携が生まれる健康増進事業のあり方 ⑦森林の新たな価値の創出

未来共創ワークショップ開催エリア・テーマ一覧



## ■ ワorkshop概要

### 【第1回】

#### ○導入トーク「SDGsと地方創生」

持続可能な地域に必要な「SDGs」と、SDGsと地方創生との繋がりについて学びました。

#### ○SDGsde 地方創生カードゲームセッション

地域で活躍する多様なステークホルダーに扮し、様々なプロジェクトの実行を通じて、これからの地域づくりに必要な考え方について学ぶために実施しました。

### 【第2回】

#### ○課題の構造図の作成

地域で起きている課題を構造的に理解するための「課題の構造図」をテーマごとに作成しました。

#### ○問いを立てる

「課題の構造図」の中で、どこにポイントを絞って取り組むかを決め、課題を明確にするために問いを立てるワークを行いました。

### 【第3回】

#### ○問いに対する取組内容のアイデア発想

第2回で立てた問いに対して、解決するための取組内容を検討するためのアイデアを地域資源や他市町村の事例を基に様々なアイデアを発想しました。

#### ○未来の種(プロジェクト)の創出

発想されたアイデアを基に、未来の種となるアイデアを選定し、プロジェクトを創出しました。



会場の様子  
(上から甘楽富岡・利根沼田・桐生みどり)

## ■ ワorkshopに参加して

今回、未来共創ワークショップに参加して、地域に根付いている様々な課題に対して、産官学金などの立場の違うプレイヤーがどう対話し、協働で取り組むことができるのかということを考える良い機会となりました。

このワークショップで生み出された未来の種が今後の各市町村の取り組みでどのように芽吹いていくのか、自分もプレイヤーの1人としてこれからも一緒に取り組んでいきたいと思いました。

